

【日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える：補足説明】

「1分で理解できる解答の書き方」で解答を書くことを前提とした「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」に関する補足説明です。

1. 「1分で理解できる解答」とは^{注1)}

1分で理解できる解答とは、**解答の要点と解答の要点に関する説明（＝要点の説明）**が書いてある解答のことです。また、1分で理解できる解答とは、**解答の要点が解答の冒頭に書いてあり、要点の説明がその後**に書いてある解答のことです。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『“1分で理解できる解答”の書き方』の概要」の資料を参照のこと

2. 文に変換する力とは^{注2)}

文に変換する力とは、**頭の中に浮かんだ解答を文に変換する力**のことです。試験では、「この問題の解答は〇〇について書こう」のように解答が頭の中に浮かんだらそれを文に変換してから答案用紙に書きます。頭の中に浮かんだことを確実に変換するために文に変換する力が必要です。

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

3. 要点の説明を考えるときに必要

要点の説明を考えるときに文に変換する力が必要です。例えば、「在宅勤務の問題を1つ述べよ」という問題に対しての解答の要点として「在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである」を考えたとします。1分で理解できる解答の書き方で解答を書く場合には、次に、**要点の説明を考えます**。このとき**文に変換する力が必要です**。頭の中に浮かんだ**要点の説明を確実に文に変換するため**です。

1分で理解できる解答の書き方を使って解答を書くとき**頭の中に浮かんだ要点の説明を確実に変換することで内容が明確に伝わる解答を書くことができます**。**変換ミス**があると内容が明確に伝わる解答を書くことができません。

【参考図書】

森谷仁著、「マンガでわかる技術文書の書き方」、オーム社、令和4年3月25日